

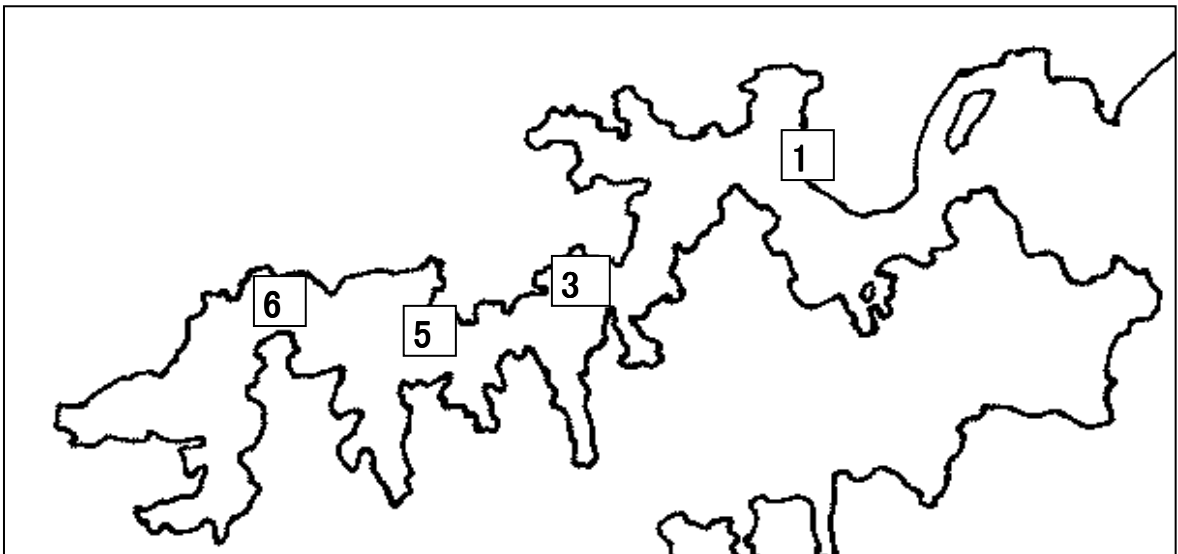
1月15日 浦ノ内湾の環境・プランクトン調査結果

定期的を実施している浦ノ内の環境・プランクトン調査の結果をお知らせします。

今回の調査では、有害なプランクトンは出現しませんでした。

昨年11月の赤潮の原因となったメソディニウム・ラブラムが観察されました。現在の密度はそれほど高くありませんが、状況によっては再び赤潮が発生する可能性もあります。本種は基本的に無害種です。

大型の珪藻類が出現しており、採水地点3では、透明度も比較的低くなっていました。



	観測層	水温	塩分	溶存酸素	メソディニウム・ラブラム	透明度
	(m)	(°C)		(mg/l)	(cells/ml)	(m)
6 水深(m) 13.4	0	9.7	31.2	9.2	0	8.2
	2	13.0	32.9	8.5	120	
	5	13.6	33.2	8.4	40	
	10	13.2	33.2	8.2		
	B-1	12.9	33.1	7.8		
5 水深(m) 16.7	0	11.2	32.3	8.5	20	8.1
	2	12.4	32.7	8.1	80	
	5	13.5	33.2	7.9	70	
	10	13.3	33.2	7.6		
	B-1	13.0	33.2	7.5		
3 水深(m) 18.1	0	14.0	33.3	7.3	50	4.9
	2	14.0	33.4	7.2	0	
	5	13.8	33.3	7.1	0	
	10	13.9	33.4	6.6		
	B-1	13.9	33.4	6.5		
1 水深(m) 10.2	0	15.0	32.7	7.6	0	5.6
	2	14.7	33.0	7.5	0	
	5	14.6	33.1	7.4	0	
	B-1	14.4	33.2	7.4		